



ゆうあい ほっとらいん

令和3年6月・7月号

第283号

掲載内容に関するお問い合わせ

☎ 042-481-7711

発行 公益財団法人 調布ゆうあい福祉公社 所在地 〒182-0022 東京都調布市国領町3-8-1

地域包括支援センターゆうあいよりこんにちは

地域包括支援センターゆうあいは、高齢者のご家族のための総合相談窓口です。
令和3年4月より2拠点（国領・八雲台）で相談を承ります。



お近くのセンターまでお気軽にご相談ください。

担当地区

国領1～5丁目、国領8丁目1～4番地、八雲台、
佐須3丁目1～24、42番地

布田2～3丁目、調布ヶ丘2丁目、3丁目5～22、
26、27番地

ゆうあいサブセンター（八雲台）



調布市八雲台1-22-1
八雲台クリーンハイム1階
☎042-484-8011

地域包括支援センターゆうあい(国領)



調布市国領町3-8-15
都営調布くすのきアパート5-109
☎042-481-4973



令和3年度事業計画概要

【法人運営】

・健全な公社経営

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け、衛生物品の確保など万全の体制で事業運営に臨みます。併せて、コロナ禍における職員等の新しい働き方を模索しながら業務改善・効率化を目指します。

自主3事業（訪問介護事業・居宅介護支援事業・ふちぼあん事業）については、新型コロナウイルス感染症の影響から、令和3年度も収益の確保が大変厳しいものと予想されますが、引き続き安全・安心を最優先に、事業運営の安定に努めます。

- ・運営体制の強化・整備

地域包括支援センター事業は、令和3年度から担当地区が変更となり、新たな拠点としてサブセンターを設置したので、まずはその円滑な運営と新たな地域への浸透を目指します。

公社事業の維持・継続には人材の確保が不可欠です。求職者

が魅力を感じるとともに、現に働く職員が定着し続ける職場を目指し、働き方改革や職場環境の整備に努めます。

施設改修では、令和2年度でデイサービスの浴室と屋上の改修工事、並びに女性職員用のトイレと更衣室等の設置工事が完了しました。

令和3年度は、厨房設備の老朽化や、職場環境の更なる改善等について検討します。

【事業運営】

・介護予防の取組

外出の機会が減少したコロナ禍で、フレイル予防の重要性は高まっています。

公社では、令和2年度も感染症予防に配慮しながら、総合事業通所型市基準サービスの週3回開催を維持しました。令和3年2月には、理学療法士を1人増員したので、令和3年度は、開催日を増やす等、事業拡大も検討します。

・地域の福祉人材の発掘・育成に向けた研修の実施

協力会員の拡大、なかでも若年世代の獲得については公社の

積年の課題ですが、コロナ禍の動向を見極めながら、引き続き重点的な取組を行います。

調布市社会福祉協議会等が開催する研修等への講師派遣については、引き続き公社職員が実践から学んだ知見を広く社会に還元する機会として、積極的に取組みます。

・認知症当事者と家族介護者支援の拡充

認知症サポーター養成講座事業では、各地域包括支援センターと連携し、引き続き新たなサポーターの養成に努めます。

養成後のサポーターへのフォローアップとして、活躍の場りストの更新や見守り訓練等を開催するほか、地域のイベント等で活躍できるよう、認知症の模擬演者を養成する取組も行います。

また、調布市と連携し、これまでに養成してきたサポーターを、認知症当事者のニーズに橋渡しする仕組作りとして「調布市版チームオレンジ」の設置準備を進めます。

家族介護者支援事業では、新たな取組として、介護の始まり

から終末期までの時間を見える化し、現に自分の関わっている介護を客観視する一助となる、「調布市版介護者手帳」の作成準備を進めます。

・医療介護連携の推進

コロナ禍で、専門職同士の各種カンファレンスや担当者会議、研修等は、インターネットを介した形態が主流になりつつありますが、これに対応したネット環境の整備やICT化を着実に進め、医療介護連携を推進します。

・地域共生社会の推進

公社の理念に基づき、地域住民一人ひとりが住み慣れた地域で暮らし続け、生き甲斐・やり叶うように支援する事業を実践します。

特に、住民参加型事業では、地域の住民同士が世代や背景を超えてつながり、「おたがいさま」の精神で「支え合う」につながる事業を推進します。

そのために、一人でも多くの方が事業参加につながるよう、地域福祉への意識醸成に取組みます。



令和3年度のスタッフ



4 列目	西村	林田	武山	大谷	二見	太田	清藤
3 列目	安達	秋山	森田	戸沢	阿部	柴田	小原
2 列目	佐々木	茂田	小宮	山口(英)	石橋		
1 列目	関塚	東海林	山崎センター長	完山	山口(瞳)	黒木	

センター長 山崎より

当デイサービスセンターでは体操や機能訓練、レクリエーションや各種活動により利用者の皆様が「心も体も元気になる」ことを目指して支援してまいります。

また、ご家族に安心していただける場、地域に開かれたセンターづくりを心がけてまいります。



満開のさくら



テラスでお花見



テラスでお花見

公社のテラスの桜が、今年も満開の花を咲かせました。

春のうららかな陽気の中で、利用者の皆さんがお花見を楽しみました。

4～5月の活動報告

来訪

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来訪の方々は中止とさせていただきます。

行事

・5月の節句

6～7月の活動予定

来訪

今後の来訪予定は未定です。

行事

・対抗ゲーム
・七夕

☆個人ボランティア

3月延べ 9名
4月延べ 20名
皆様のご協力ありがとうございました

☆お礼

タオルのご寄附をありがとうございました。引き続きのご支援、よろしく願っています。



「介護予防・日常生活支援総合事業（市基準サービス）の紹介」

公社では週3回、総合事業（市基準サービス）を実施しています。

◆どのような事をする所ですか？

ストレッチで体を動かした後、ゴムチューブやボール、棒などを使って、運動を行います。運動の合間には脳トレも行っており、頭と体を使ったトレーニング内容となっています。

◆参加者はどのような方がいますか？

参加者は女性の方がやや多めですが、男性もいらつしゃいます。現在は月・水・金の午前中のみ開催しており、御自身で施設まで来所できる方が対象となっています。今後、開催の曜日は増やす予定です。

◆見学は可能ですか？参加したいのですが、どうしたらよいですか？

見学や参加を希望される場合は、お住まいの住所ごとに担当の地域包括支援センターがありますので、まずそちらにご相談ください。

デイサービスボランティア募集
はじめてみませんか、あなたに出来るボランティア

飲み物をお出しするボランティア

・準備、提供など

・ご利用者とお話ししながら好みに応じた飲み物の提供

・週1回から。活動時間は1〜2時間程度

レクリエーションボランティア
・製作活動のお手伝い
・体操やゲーム等のお手伝い

お楽しみボランティア
・歌や踊り、ミニ演奏会、朗読など一芸を発揮してください。

・個人、グループでもOK
・年1回でも。30分から1時間程度で要相談

ご寄付でボランティア
・野菜・花の苗や種
・活動に使う墨汁・半紙・千代紙・毛糸・手芸用品・折り紙など

お申し込み・ご相談 活動先
①調布市国領高齢者在宅サービスセンター（国領町3-8-1）
☎042-481-7711

②認知症対応型デイサービスぶちぼあん（入間町3-22-5）
☎03-3483-1681

ぶちぼあん通信

◆感染症対策
調布市でも新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が、開始されました。

利用者様宅にも、お知らせが届いたと聞きますが、接種まではもう少し時間がかかりそうです。

◆ご家族の皆さまには、引き続き体調管理のお願いをいたします。

ぶちぼあんでも、夏場の熱中症の時期と重なりますが、こまめな換気やマスク着用で、感染症対策を徹底してまいります。

◆令和3年度年間予定
感染症の状況にもよりますが、現在予定している年間予定は左記の通りです。

運営推進会議（5月、11月）
家族会（6月、12月）
敬老週間（9月13〜17日）
敬老週間（9月13〜17日）

◆契約書別紙のご協力ありがとうございます。ありがとうございました。

介護保険制度改定に伴う費用負担について、契約書別紙での確認をさせて頂きました。ご不明点等については、以下にお問い合わせ願います。

☎03-3483-1681

◆令和3年度の体制
令和3年度の職員体制について、左記のとおりお知らせします。

引き続き、国領高齢者在宅サービスセンターと連携し、サービス提供をしてまいりますので、よろしくお願いたします。

【ぶちぼあん体制】

- 係長：山崎
- 管理者：大澤
- 相談員：尾形、関塚、岩井
- 機能訓練指導員：山口（Ns）
- 介護士：市瀬、菊地、杉原
- 事務兼運転：谷田部
- 運転手：田中
- ボランティア：ぶちサポさん

◆活動報告

以前製作した『鯉のぼり』も、フロアで皆さんを見守っています。



「ホームヘルプスキルアップ研修の報告」

4月16日(金)、協力会員を対象に、「福祉体験をこれからに役立てる」と題した研修を行い、高齢者に扮する模擬体験と、車いすの操作と介助を学んでいただきました。

参加者からは、実体験を通して、「白内障等の不便さが分かった」、「普段、感じない段差が、車いすだと脅威に感じる」、「車いすに乗る事で、初めて分かる事がたくさんありました」等の感想をいただきました。



「健康相談のお知らせ」

公社では毎年、市民や協力会員が、健康の悩みや不安、また法律に関する困りごとなどを、専門の医師や弁護士に相談する専門相談事業を実施してまいります。

令和3年は、次の通り開催する予定です。相談は無料ですが、事前の予約が必要です。相談をご希望される方は、左記の番号へご連絡ください。

● 法律相談

7月8日(木)・9月17日(金)・11月11日(木) 全日10時30分～12時

● 内科相談

7月15日(木)・9月16日(木)・11月18日(木) 全日13時30分～15時

● 精神科相談

7月20日(火)・9月28日(火)・11月30日(火) 全日14時～15時30分

【申し込み・問合せ】

住民参加推進係

☎042(481)7711

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、状況によって中止となる場合があります。

ケアラーをまえるグループレッシーコラ、のりレコーラ、



市内のケアラーを支えるグループのご紹介第7弾です。

ダブルケアおしゃべりの会

こんにちは。2019年秋から調布市内でスタートした、「ダブルケアおしゃべりの会」です。

まだ、あまり皆さんにお馴染みではないと思いますが、子育て中に家族の介護や看病が重なることをダブルケアと言います。

子育て世代でありながら、家事や仕事だけでなく、自分の親や他の家族の、ケアや手続きに追われる忙しい日常がそこにはあります。その結果、自分の時間や趣味、休息や健康管理などは、後回しになりがちです。

しかし、子育て中に介護の話ができる知人友人を作る機会はほぼ皆無で、介護者の会に参加しても、出席者の多くは親世代の方で、同じ境遇の同年代と介護の話を共有する事は難しいです。そんな実体験から、子育て世代の介護者の皆さんが、気軽に集い、語り合える場があればいいなと感じていたところ、一昨年、社会福祉協議会の職員の方との良い出会いがあり、この会をスタートすることにしました。

19年度までは、市内の地域セン

ターや調布駅近隣の総合福祉センターに集まり、お茶やお菓子を囲んでお話をしていました。

集まりでは、参加の予約不要、途中の入退出も自由で、お子様と一緒に参加も歓迎でした。おもちゃを持ち込んで頂いてもよし、会でも遊び道具を用意し遊べるスペースも設けるようにしていました。

コロナ対策で、2021年は、6月後半、秋10月頃、来年2月頃の3回開催で、事前申込み制のZOOMでのオンラインの会にする予定です。

令和3年2月に、初めてオンラインで開催し、調布市近郊や他県にお住いのダブルケアラーさん5人程とお話できました。

現在ダブルケア中でお話してみたいケアラーの皆さんはメールアドレスやSNSがありますので、ご連絡をお待ちしております。

◆連絡先(メールアドレス)

montreal0703@yahoo.co.jp

◆インスタグラムアカウント

@kosodatekaigo

子育てと介護の 第4回
ダブルケアおしゃべりの会

子育てと介護をする「大変さ」「上手くいかない気持ち」。「喜び」「困難な気持ち」。こんな日常を言葉にして、「おしゃべり」しませんか？
4. 繰り返しはスツキリして、家族にちょっと優しくなれるかも。

日時：令和3年2月17日(水) 10:30～12:00
場所：Zoom開催
申込日：令和3年2月15日(月)
※お申し込みの際は、氏名・メールアドレスを記入の上、ご連絡ください。
※QRコードより申し込み可能です
参加費：どなたでも【市外の方も歓迎】

参加費無料 10名以内の申し込み制
出入り自由 音声のみの参加もOK

申込先
ダブルケアおしゃべりの会
E-mail
montreal0703@yahoo.co.jp

主催
調布市社会福祉協議会
042-481-7979
調布地域支援センター(調布市)
042-481-9000

チラシでも開催のご案内をしております

「食事サービス運営委員会」の取組について

食事サービスに関わる協力会員を「おなかまランナー」と称し、どなたも仲間意識を強く持ち、主体的なボランティア活動をされています。

おなかまランナーでは、調理と配達に運営委員会を設けて、毎月、担当職員と打ち合わせをしています。調理運営委員会では、献立の検討、衛生管理や食中毒事故の防止等、また、配達運営委員会では、お弁当の正確な受渡し、交通事故の防止、配達ルート調整等に取組んでいます。

他にも、イベントを開くなど会員間の交流にも努めています。毎年度、3月に総会を開催し、両委員会の活動報告や、次年度の活動計画の決定並びに新たな運営委員の選任等を行います。今年度も、4月から新たな運営委員が加わり活動をスタートしました。

我々職員も、おなかまランナーの皆さんと協働し「安全に美味しいお食事を届ける」をモットーに、引き続き良質なサービスの提供に努めます。



調理運営委員会



配達運営委員会



「筍掘って来ました!」

若葉町の武者小路実篤記念館より、筍のご寄付を頂けるということで、調理・配達の協力会員さん達と筍を掘って来ました。掘った筍はすぐに下茹でして、筍ご飯や煮物などで利用会員さんに召し上がっていただきました。

武者小路実篤記念館の皆さまありがとうございました!



■管理係

新人紹介



たまき 玉置 かおり 香織

4月1日から管理係に配属されました。

社会人3年目で、過去2年は病院勤務で相談員をしていました。

調布市は初めての土地なので、これから色々学び、地域の輪の一員として自覚と思いやりを忘れずに一歩一歩、歩んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

ご寄附ありがとうございます

植田 賢次様 15万円
 武安 眞珠様 1万円
 匿名 7万円
 大西 輝雄様 赤ネギ・人参・ちぢみほうれん草・春菊
 今村 孝幸様
 衛生衣等20着
 匿名 古タオル 9枚

会員状況(令和3年4月末現在)

- 利用会員 239世帯(2993人)
- 協力会員 248人
- 賛助会員 個人235人 法人6団体